

# 東日本大震災



3月11日午後2時46分、三陸沖でマグニチュード9.0の大地震が発生した。「東北地方太平洋沖地震」と名付けられた、この東日本大震災は予測をはるかに超えた大津波によって、未曾有の災害をもたらした。いまだに死者、行方不明者も特定できておらず、原子力発電所の放射能漏れの恐怖も去ってはいない。遊技産業界も例外ではなく、ホール、販社、メーカーとも大きな被害を受けているが、被災者の皆さんへの支援の活動もただちに取り組まれた。日遊協は3月22日と29日の2回、仙台市と周辺地域に調査隊を派遣して、支援の足がかりとした。東日本大震災への産業界の取り組みを緊急にレポートする。

東日本大震災の被災地への長期的な支援策を検討するため、日遊

東日本大震災の犠牲者、被災者の皆様に  
心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。  
被災された方々の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

日本遊技関連事業協会

未曾有の災害に!

支援へ、日遊協は緊急に現地調査

# 眼前に惨状まざまざと 第1次白石総隊長、第2次深谷会長



塩竈市の海岸近くのホールは内部がめちゃくちゃになっている

協は3月22、23日、白石良二日遊協ボランティア派遣隊総隊長（日遊協理事）、江口憲治東京都・関東支部事務所長を仙台市に派遣した。続いて29、30日、第2陣として深谷会長ら6人が現地に赴いた。2回の派遣チームは仙台市で高橋文良東北支部事務所長と合流し、仙台、塩竈、多賀城、石巻、東松島市の津波被災状況を中心に視察し、仙台市の障害者施設・社会福祉法人「ありのまま舎」、同市を拠点に支援活動中のNPO法人「難民を助ける会」の各メンバーと、日遊協及び業界としての今後の支援方法などについて意見を交換した。

## 海岸のホール めちゃくちゃ

被災状況については、仙台市中心部は少なくとも外見は平常に近かったが、同市若林区、宮城野区岡田地区、塩竈、多賀城、石巻、東松島市に入ると風景は一変した。沿岸部のこれらの地域では津波で電柱、車、家屋の廃材、畳、家具などが見渡す限り散乱し、また田畑だった一帯には大量の海水が残って広大な沼のようになっていた。漁船、タン

仙台入りを前に「がんばろう東北!」の横断幕を張る深谷会長（左から2人目）ら調査隊の一行



クローリー、大型トラック、防風林の松の木などが田畑、道路にまで流されてころがり、大津波の脅威を見せつけていた。

塩竈市の海岸にあったホールは壁に大穴があき、店内の島がめっちゃめちゃになぎ倒される惨状だったが、お客様は津波警報が発せられる

## 日々変わる 現地の要望

と直ちに避難し、1人の犠牲者も出なかった。「地震に対しては普段から避難訓練をしており、訓練通りに出来た」と店ではいっていた。

ありのま

ま舎」や「難民を助ける会」などによると、被災者の要望は時間の経過によって変化している。被災直後から1週間ぐらいは避難場所、毛布、水、電気、明かり、食料、子どものミルク、衣料品などだったが、落ち着き出すと歯ブラシと歯磨き粉、ウ

エットティッシュ、生理用品、下着、消毒薬など衛生面の要望が強くなり、飲み物も水から野菜ジュース、牛乳、コーヒーなどに変化した。今後、さらに落ち着くと、要望は本、おもちゃ、ゲーム等に変わり、さらに住宅問題、仕事の心配など今後の生活への不安が強くなってくる。時間の経過を考慮した、適切な支援活動が必要という。

今回の2回の派遣で、日遊協は受け付けた救援物資の一部を積み、現地で「難民を助ける会」「ありのまま舎」、宮城県遊協に引き渡した。塩竈署は津波をもろにかぶって電気系統が全滅、被災後1週間は夜間ろうそくで執務した。署員186人に被害はなかったが、ガソリン不足で帰宅できないこともあり、3月29日現在ほぼ全員が署の道場に寝泊まりし、入浴も出来ない状況だった。

その間、トルコのレスキュー隊と管内の約300遺体を収容し、さらに海上で収容された遺体を合わせて約700遺体を市内の体育館に安置した。

宮城県遊協の話では、3月30日現在、同県内の210店舗のうち60店舗が全滅、50店舗は半年後に

は営業に復帰できそうという。

## 下着や充電器 など持参

急送した救援物資は次の通り。

〔第1陣〕トランクス(M、L) 160着▽Tシャツ(M、L、LL) 50着▽カップ麺3ケース(24個)▽女性肌着150着▽女性ソックス100着▽男性ソックス40着▽軍手996着▽レトルトカレー1360個▽缶詰(サンマ、赤貝、シーチキン、コンミート)630個▽携帯充電器(AC/USBタイプ)1320個▽同(乾電池式)1100個▽野菜ジュース10ケースほか

〔第2陣〕ガソリン10000▽マスク1万4000枚▽長崎デコポン450個▽カップ麺1400個▽缶詰(いわし味付け、赤貝甘煮、しん蒲焼き、いわし甘煮、ニューコンミート、オレンジ、黄桃、シーチキン)1782個▽お茶420本▽携帯充電器(AC/USBタイプ)240個▽同(乾電池式)320個▽軍手480着▽レトルトカレー180食▽バナナ、オレンジ、子供用菓子、本(漫画含む)ほか

# 打撃受ける 支部会員

日遊協の「東北地方太平洋沖地震対策本部」は3月30日現在での東北支部会員への連絡状況をまとめた。(カッコ内は業種と本社所在地)

▽(株)飛鳥商事(ホール、岩手県矢



日遊協調査チームは、「難民を助ける会」の基地への支援物資を降ろす

中町) 〓 8店舗中、全壊1、床上浸水1、その他被害2。4店は営業。▽(有)公衆(ホール、盛岡市) 〓 12店舗中、水害被害2。1店はボランティア活動で休業。9店は営業。▽(株)ニラク(ホール、福島県郡山市) 〓 49店舗中33店舗営業。▽(株)村上商事(ホール、岩手県陸前高田市) 〓 3店舗中、水害被害2。

1店は営業。▽(有)仙南遊機(販社、宮城県柴田町)、(株)ソレイユ(販社、仙台市)、(有)第一遊機(販社、青森県碓ヶ関村)、合資会社ビームス(販社、青森市)、(株)ユーギシステム(販社、山形県酒田市)、陸前運送(株)(その他、仙台市)、アシード(株)(賛助、仙台市) 〓 以上特段の被害なし。

## 事務局に「対策本部」設置

東日本震災の非常事態に対処するため、日遊協は3月14日、本部事務局に「東北地方太平洋沖地震対策本部」(責任者・佐藤千治事務局長)を設置し、会員企業の被災状況把握に努めるとともに、

3月以降の関連行事を中止又は縮小して、費用の削減分を被災者及び被災会員等の支援に当てることを決めた。

## 支部総会も 懇親会自粛

当面、3月30日の東京都・関東支部総会を延期するとともに同時開催の「環境フォーラム2011

in東京」を中止した。東京都・関東支部総会は、6月9日の第22回通常総会との同時開催が検討されている。

4月19日に九州支部総会との同時開催が予定されている「環境フォーラム2011 in九州」も中止が決まった。東北、近畿両支部は総会を中止した。他の5支部(北海道、東京都・関東、中部、中国・四国、九州)の総会及び日遊協の通常総会は例年通り開かれるが、総会後の懇親会等のイベントはすべて取りやめることになった。

通常総会の会場は、当初ホテルが予定されていたが、これについても現在検討中である。

## 仙台市での試験を中止 取扱主任者・新規と更新

日遊協は3月15日、仙台市で4、5月に予定されていた遊技機取扱主任者講習・試験 〓 4月25日(更新時)、5月12日(新規)、5月13日(更新時) 〓 を、会場のメルパルク仙台が東日本震災の被害を受けたことなどから中止することを決めた。

申し込んだ人で、申込受講会場の変更がある場合は、申し込みをした組合又は日遊協に連絡する。

とくに、更新時講習申し込みの人は、今回の中止によって遊技機取扱主任者証の有効期間が切れてしまうので、遊技機取扱主任者に関する規程第10条(取扱主任者証の更新の特例)を適用することになり、日遊協への連絡が必要となる。規程第10条では、「やむを得ない理由のため、有効期間内に更新時講習・試験を受講・受験ができなかった人は、その旨の事由を付して日遊協に申請し、当該事由の止んだ日から起算して6か月以内の実施される講習・試験を受けることができる」となっている。なお、仙台会場での開催は6か月後を目途に準備を進めている。